

国立大学法人 長岡技術科学大学  
平成30年度第2回経営協議会議事要旨

日 時 平成30年6月22日（金）13時37分～15時40分  
場 所 ホテルニューオータニ長岡 うめの間  
出席者 東議長、天羽委員、大貝委員、五味委員、谷口委員、中野委員、鎌土委員、三上委員、秋山委員、佐藤委員、中出委員、大石委員  
(議事の表決委任による出席 池田委員、磯田委員、合田委員、関委員、トラン委員)  
陪席者 滝上監事、和田附属図書館長  
事務局 企画・広報室長、総務課長、財務課長、監査室長、総合情報課課長補佐、総務課課長補佐、財務課課長補佐、総合情報課IR・評価係員、財務課予算係員、総務課総務係長、総務課専門職員（総務企画担当）

議事に先立ち、平成30年度第1回議事要旨(案)について説明があり、案のとおり承認した。

審議事項

**1. 平成29事業年度に係る業務の実績に関する報告書について**

鎌土委員から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、軽微な修正については学長に一任することとした上で、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。（○：学外委員からの質問、意見等 ●：学内委員からの回答）  
○項目別の状況における進捗状況について、「Ⅲ（年度計画を十分に実施している）」が多すぎる。本学は十分に実績があり、「Ⅳ（年度計画を上回って実施している）」を付けられる項目があると思われるので、実績が上がっていることをもっと主張すべきであり、自己評価の見直しをしたほうが良い。

●実績が上がっている項目などを再検討したうえで提出する。

**2. 平成29年度年度決算について**

秋山委員から、資料2-1～2-6に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

**3. 平成31年度概算要求について**

秋山委員から、資料3-1～3-3に基づき説明があった。また、6月21日に文部科学省から通知のあった平成31年度国立大学法人運営費交付金等の重点支援に係る概算要求の方向性について報告があり、機能強化における戦略の評価指標の精選など、示された方向性に沿って概算要求を行う旨の説明があり、審議の結果、これを承認した。

主な質疑応答は以下のとおり。

○機能強化の行程表において、第4次産業革命やSociety 5.0などと言われている、「人材育成」や「ものづくり」、「情報化」などのキーワードが出てこない。本学として、平成31年度から平成33年度には、未来技術分野をどのように進める計画か。

●第3期中期目標・計画期間における機能強化の年次スケジュールは、平成27年6月に作成したもので、近年の提言等が反映されていない。現在、情報分野などの教育カリキュラムをどのように構成していくかを含め、組織の見直しを検討している。

○機能強化における評価指標について、プロセス指標が多く全体が見えない。体系化した指標の設定が必要ではないか。

●戦略ごとの細かな評価指標に留まっている。今後、全体像が見えるように示していきたい。

○今後のK P Iの再設定に当たり、平成29年度の実績を示してほしい。

○施設要求の項目では、機能強化につながる説明が重要となる。

●建物新営経費を獲得することは、難しい状況にあるが、機能強化事業と絡めて要求する。

○建物改修等の施設設備費関係の概算要求においても、機能強化の方針をSociety5.0の要素を盛り込むなど新たな価値観を付けた要求をしていかないと認められない。

#### 4. 長岡技術科学大学外部評価の実施について

鎌土委員から、資料4に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 5. 「国立大学法人長岡技術科学大学における軍事的安全保障研究の取扱い」について

鎌土委員から、資料5に基づき説明があり、審議の結果、これを承認した。

#### 報告事項

##### 1 平成30年度会計監査人の選任について

秋山委員から資料6に基づき、報告があった。

#### 意見交換

大学運営について、意見交換を行った。

以 上